

日本OR学会創立40周年 関西支部記念式典・シンポジウムルポ



大角 盛広 (神戸芸術工科大学)

平成9年11月8日(土),大阪弥生会館において日本OR学会創立40周年関西支部記念式典・シンポジウムが開催された。予定通り13時に開会され、関西支部記念事業実行委員長の田畑吉雄先生の司会のもと、日本OR学会会長の刀根薫先生が来賓として開会挨拶をされた。

13時20分より「関西におけるORの黎明期,現在そして将来」と題して日本のORの草分けである西田俊夫先生・三根久先生・朝尾正氏による座談会が始まる。まず西田先生により会場に大量に持ち込まれた貴重な「古文書」の紹介など、OR黎明期の若々しい雰囲気を与えるお話がなされた。三根先生は御自身の学生時代のお話から経営科学としてのORに目覚める過程をユーモアを交えて話された。朝尾氏は田辺製菓での生産管理の現場などをふまえて熱のこもった迫力あるお話をされた。西田先生がOR衰退の危機について触れると、三根先生は産業界はORの成果をそれと意識せず利用しているということであろうと話された。朝尾氏はかつてのアメリカの例や書物ではなかなか伺えない現場の事例などを引かれながらORの価値について再考を促す興味深いお話をされた。さらに倒産などの相次ぐ日本経済の将来について、三根先生と朝尾氏による熱のこもった提言が行われた。最後に西田先生が、現代のような経営難の時代にこそ経営手腕を問われORを生かすべく若い人に期待したいと締めくくられた。

14時25分より前OR学会会長の村井勉氏による「我が人生とOR学会」と題する特別講演が行われた。読書青年だった時代から「すぐ行動を起こして軌道修



座談会(朝尾氏,三根先生,西田先生)

正」という哲学を得るまでのお話や、マツダ副社長、アサヒビール社長などを歴任され、社員の意識改革によりそれぞれみごとに組織を活性化し再建されたお話など、現場に密着した非常に説得力のあるお話をされた。ユーモアのある語り口に会場はしばしば爆笑に包まれた。

次に長らくIFORS副会長をされてきた長谷川利治先生による「最近のIFORSの活動状況」と題する報告が行われた(最初に英語のOHPが映され思わず英語での御講演かと心配になったものの日本語だったのでホッとしました)。1947年にオックスフォードで開催されてからの簡単な歴史や、ソ連やホンコンの問題、財政面のお話、北京開催に関する苦勞などを話された。この御講演も会場に和やかな笑いをもたらしつつ、16時半に終了。

最後に関西支部長の田村担之先生が挨拶された。関



刀根 OR 学会会長挨拶



特別講演・村井前会長

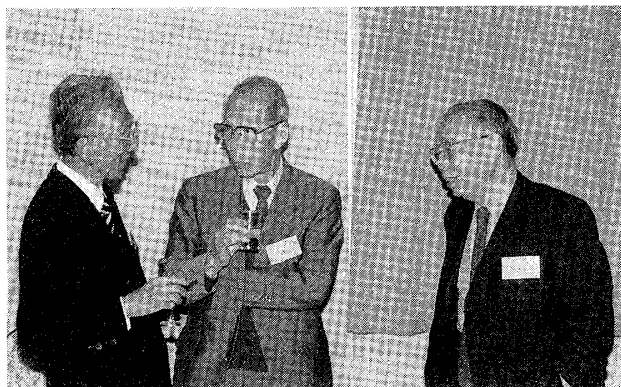


特別講演・長谷川 IFORS 副会長

西支部での4つの研究部会や、関西支部での現在の会員数（学生56，全体450）など、関西支部の活動状況について紹介された。また、会員を増やすよう関係者による努力がなされていることも紹介された。

16時45分、田畑先生より閉会宣言がなされ、記念式典は万雷の拍手のもと終了した。なお、シンポジウムの参加者は一般86名、招待17名であった。

式典終了後の17時より、「最新 OR 情報関連デモンストレーション」として隣接会場にて JR 西日本によるビデオの放映と、住友金属システム開発株式会社による株式会社スケジューラ研究所のソフトウェアのデモが行われた。ビデオでは新幹線500系のぞみに使われている最新技術が紹介されており、わかりやすいCGアニメーションで素人にも大いに楽しめる内容であった。また、工場向け生産スケジューリングシステム ASPROVA は日本工業新聞社の優秀賞を受賞した



多田・朝尾・三根各先生——懇親会場にて

優れた製品ということで、真剣に見入っている人や専門的な質問をする人の姿が見られた。

デモンストレーションに引き続き同会場で6時から懇親会が行われた。田畑先生の司会のもと、6支部をすべて回られる刀根先生が挨拶され、OR学会副会長の小金沢章吾氏の音頭で乾杯となった。料理は寿司から蕎麦まで豊富にあり、食べきれないほどであった。なごやかな雰囲気の中、あちこちでさまざまなお話で盛り上がっていた。最後はOR学会研究普及理事の中森真理雄先生、田村先生の挨拶で締めくくられたが、学問全般が軽視されているなか、学会としてORを積極的に提言していくべきだという40周年記念にふさわしい力強い言葉で懇親会が終了した。

末筆ながらシンポジウムのため遠方よりお越しいただき貴重なるご講演・ご報告をいただいた来賓・講師諸先生に感謝いたします。またご多用の中、シンポジウムの主旨にご賛同いただき、快くOA機器・ソフト展示にご協力いただいた協賛企業および多くの会員のご参加をいただいた協賛学会・団体に感謝いたします。

日本OR学会創立40周年記念 北海道支部記念行事 ルポ

若林 信夫 (小樽商科大学)

日本オペレーションズ・リサーチ学会創立40周年記念の北海道支部の記念行事は北海道支部創立35周年記念（脚注）と併せて平成9年11月11日（火）の午後、盛大に行われた。

当日は、晩秋の穏やかな1日であり、道内各地から総勢80名という多数の参加を見た。

場所は、札幌市の中心部にあるホテル「札幌ガーデン

ンパレス」であった。プログラムは、3部から構成され、第1部は記念式典であった。

関口恭毅実行委員長（北海道大学）による開会の辞の後、刀根薫 OR学会会長の挨拶、続いて戸井田弘北海道支部長（北海道電力）の挨拶があった。刀根会長からは、1957年（昭和32年）日本にOR学会が成立して、40年経ち、学会会員数も世界で2番目に多い国で